

は じ め に

岩手県環境保健研究センターは、本県の環境保健行政の科学的・技術的拠点としての役割を担うべく設置された試験研究機関です。

環境保健行政においては、鳥インフルエンザ、健康危機管理、食の安全安心、青森県境産業廃棄物不法投棄問題、地球温暖化対策、希少野生動植物の保全等、様々な課題が山積しております。

当センターではこれらの課題に迅速に、そして的確に対応するため、また行政需要及び県民のニーズに応えられるよう試験検査及び調査研究業務を行っております。

試験検査業務においては、感染症発生動向調査に係る病原体検査、残留農薬検査、公共用水域及び大気の常時監視等を行い、本県の環境及び保健の維持、向上に努めてまいりました。

これらの試験検査業務等を通じて得た情報は解析し、関係機関又は県民がその情報を利用できるようホームページ等により発信いたしました。

平成16年度の調査研究業務においては、政策形成プロジェクトに参画し、「廃棄物による土壌汚染修復技術に関する研究」、「廃棄牡蠣殻の環境浄化への活用化研究」(ゼロエミッション推進)及び「ライフステージに応じた健康水準指標評価のための基礎的研究」(事前対応型がん撲滅)を行いました。

また、ノロウイルスの検出法に関する研究、地球温暖化対策に関する研究及びツキノワグマ、イヌワシ等、野生動植物の保全に関する研究等を行い、本県の環境保健行政が直面する課題又は県民にとって身近な問題の解決に向けて前進するよう心がけ、平成16年度には研究課題は26テーマを数えております。

これらの試験検査及び調査研究業務について、その成果を取りまとめましたので、岩手県環境保健研究センター年報第4号として発行いたします。ご高覧のうえ、ご意見をいただければ幸いです。

平成17年11月

岩手県環境保健研究センター
所 長 築 田 幸